

埼玉連絡会ニュース No.8 2023.6.20

安心な地元農産物の活用と学校給食の無料化をめざす埼玉連絡会

私たちの運動の意義を学び交流する給食問題学習会(6月18日)

「新しい質の運動に大いに期待」



給食連絡会代表世話人であり、埼玉食健連会長の柳重雄さんが「日本の農業の現状と学校給食」と題して講演しました。柳さんは、給食連絡会が「無償化」と「安全な給食」を求めるのは、生産者と消費者を結ぶ「新しい質の運動」と大いに期待を表明されました。

「アメリカにモノが言えない日本の農政は『食糧主権』の考えが欠落していると厳しく批判する。日本の農業人口は減り続け、耕作放棄地が増え続けている現状で、食糧自給率は38%まで落ちて改善されていない。政府が立てた基本計画の食糧自給目標45%にも遠く及んでいない。その中で、農業従事者と消費者が、環境を意識して結びつき、幅広く質の高い運動が起こり始めていることは希望だ」と結ばれました。給食連絡会の運動もその流れの一環でもあるとの講演は、私たちの運動の意義を改めて確信するものとなりました。

講演後の県内各地の運動報告がありました。大規模な食中毒事件を起こした八潮では、「安全な学校給食を考える会」を再建し、複数の給食センター設置を求める活動を展開している報告でした。新座では、幅広い団体で「無償化とオーガニック給食をめざす会」を立ち上げました。子どもと一緒に駅頭宣伝を行い、市民より多数の署名が寄せられ、女子栄養大学の先生も学習に協力をしてくれ運動が促進しているとのことでした。

埼教組栄養職員は、無償化を実現した坂戸市の給食について、無償化により心苦しく行っていた未納の督促連絡をしないで済むようになったのはよかったが、各家庭から市に補助申請を出させる問題や、アレルギー対応がなされていない問題について、改善が必要と発言しました。



会場いっぱい集まった73人

当面のとくみ

- 署名6万筆達成を目指す 現在4万1千筆です。
 - ・浦和駅前大規模宣伝行動 6/30(金) 12:30、7/14(金) 12:30
 - ・県要請 7/18(火) 署名を提出して要請します *その時までには署名をすべて埼教組本部へ
- 学校給食歴史館(北本市)を見学し、生産と調理について学習します。
 - ・8/25(金) 10時より現地集合

参加希望者は、事務局 もしくは右のQRコードからお申し込みください→



安全な地元農産物の活用と学校給食の無償化をめざす埼玉連絡会【埼玉生連、農民連、埼玉労連、食健連、社保協、新婦人】

連絡先：埼玉県教職員組合 048-824-2511 新日本婦人の会埼玉県本部 048-829-2307